

北陸地方整備局入札監視委員会事務局  
資料配付

配布日時

令和4年10月6日  
配布をもって解禁

北陸地方整備局入札監視委員会第一部会第1回定例会議を開催しました  
— 議事概要を公表します —

北陸地方整備局入札監視委員会(※1)は、第一部会(※2)の第1回定例会議を9月5日に北陸地方整備局で開催しました。

定例会議では、部会長が選任され、入札契約の運用状況の報告、令和3年度下半期発注工事等の中から部会が抽出した10件の事案の審議が行われました。

なお、審議の結果、委員会による意見具申及び勧告はありませんでした。

※1 入札及び契約の過程、契約内容の透明性を確保するため、平成6年度から設置された学識経験者等で構成される第三者機関です。

※2 第一部会は、港湾空港関係事務以外の入札・契約手続きに関わる事項について、審議しています。

同時発表記者クラブ  
管内各県記者クラブ

(問い合わせ先)

北陸地方整備局入札監視委員会事務局

第一部会 電話025-280-8880(代表)

主任監査官 片山 敦史(会議の運営)

契約管理官 池田 潤(別紙「1 入札・契約手続きの運用状況」、  
「2 抽出事案(役務の提供等及び物品の製造等)」)

技術開発調整官 石田 和典(別紙「2 抽出事案(工事)(建設コンサルタント業務等)」)

北陸地方整備局入札監視委員会（第一部会第1回定例会議） 議事概要

開催日及び場所	令和4年9月5日（月） 北陸地方整備局（新潟市中央区美咲町1-1-1）					
第一部会所属委員	部会長 大川 秀雄（新潟工科大学 学長） 部会長代理 豊田 浩史（長岡技術科学大学 教授 環境社会基盤工学専攻） 委員 上村 都（新潟大学 法学部 教授） 委員 大谷 友男（富山国際大学 現代社会学部 准教授） 委員 角家 理佳（弁護士）					
審議対象期間	令和3年10月1日～令和4年3月31日					
報告事項	入札・契約手続の運用状況について (1) 工事、建設コンサルタント業務等、役務の提供等及び物品の製造等の発注状況 (2) 指名停止等の運用状況 (3) 入札談合に関する情報等への対応状況 (4) 再度入札における一位不動状況 (5) 低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況 (6) 一者応札の発生状況 (7) 不調・不落の発生状況 (8) 高落札率の発生状況 (9) 有資格業者登録状況					
審議事項	抽出事案10件（工事7件、建設コンサルタント業務等2件、役務及び物品1件）					
	契約方式	件名	契約業者名	契約年月日	契約金額（千円）	入札者数
工 事	一般競争入札方式 （政府調達に関する協定適用対象工事）	朝日温海道路9号トンネル工事	鹿島建設（株）	R4.1.31	1,614,030	15
	一般競争入札方式 （政府調達に関する協定適用対象工事以外）	湯沢除雪基地車庫棟2期（21）新築工事	（株）森下組	R4.2.3	295,680	5
		鷹ノ巣道路沼地区改良その5工事	（株）渡辺組	R4.3.18	193,600	3
		葛葉下流山腹工その20工事	（株）笠原建設	R4.3.14	119,020	2
	指名競争入札方式	庄川・太田上流護岸災害復旧その2工事	竹沢建設（株）	R4.3.14	350,570	10
随意契約方式	大河津分水路新第二床固改築I期その2工事	大河津分水路新第二床固改築I期工事鹿島・五洋・福田特定建設工事共同企業体		R4.2.1	7,507,852	1
		令和3・4年度大川ダム低水放流設備修繕工事	（株）IHIインフラ建設	R4.2.3	102,894	1
建設コンサルタント業務等	一般競争入札方式 （総合評価落札方式）	令和3年度千曲川河川事務所用地調査点検等技術業務（その2）	日本振興（株）	R3.10.22	12,980	2
	簡易公募型 プロポーザル方式	令和3年度「道の駅」の持続可能な取組みに関する検討業務	（株）建設技術研究所	R3.10.19	29,975	3
役務の提供等及び物品の製造等	一般競争入札方式	令和3年度信濃川下流河川事務所PCB廃棄物処理作業	（株）富士クリーン	R3.10.28	454	5
委員からの意見質問、それに対する回答等			別紙のとおり			
委員会による意見の具申又は勧告の内容			特になし			

意見・質問	回 答
<p>1 入札・契約手続きの運用状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特になし</li> </ul>	
<p>2 抽出事案の審議について</p> <p>(工 事)</p> <p>1 一般競争入札方式</p> <p>(政府調達に関する協定適用対象工事)</p> <p>「朝日温海道路9号トンネル工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入札価格は、土木の方はかなり正確に積算できるのか、どの者も近い金額を入れてきているのですが、1者予定価格を超過しているところは、どこかで計算ミスをしたということでしょうか。</li> <li>・ その者は技術点に自信があるので、予定価格ギリギリでも落札できるかなということで、こういう価格を入れてきている可能性があるということですか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ その者は予定価格ギリギリを、他者は調査基準価格ギリギリを狙って入札したのではないかと考えられます。</li> <li>・ 予定価格を若干超過していますが、技術点に対して、入札額をどうするかという企業の戦略によるものと考えられます。</li> </ul>
<p>(政府調達に関する協定適用対象工事以外)</p> <p>「湯沢除雪基地車庫棟2期(21)工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ この工事は落札率の高い案件で、その原因としては、積算価格が公表されている等々という説明があったと思いますが、第1回入札価格にかなり開きがあるのはなぜでしょうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原因はわかりませんが、入札参加者は、なるべく高い金額で受注したいという意識があって、入札したものと考えられます。</li> </ul>
<p>「鷹ノ巣道路沼地区改良その5工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特になし</li> </ul>	
<p>「葛葉下流山腹工その20工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特になし</li> </ul>	

意見・質問	回 答
<p><b>2 指名競争入札方式</b>  <b>「庄川・太田上流護岸災害復旧その2工事」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・低入札になって追加資料を提出しないという者が多いと思ったのですが、フレームワーク工事について説明をお願いします。4つ同じような工事があって、今回落札した者は除いて次から入れた者が競争するという原理なのではないでしょうか。</li> <li>・今回、資料はないですが、他の3件も低入札気味だったのでしょうか。</li> <li>・低入札の追加資料未提出が目立ったわけですが、一般的に、低入札の時に追加資料未提出というものは多いことなのでしょうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本件のフレームワーク工事は、隣接する4つの工事について、あらかじめ参加希望者の意思表示（参加意思表明申請書の提出）を確認し、施工能力を審査した上で、特定工事参加企業名簿を作成、その中から複数の工事参加者を指名する手続きです。今回の案件は、1者2工事まで受注できることになっています。</li> <li>・他の3件についても、1者若しくは2者の低入札はありました。</li> <li>・調査基準価格を下回った場合には、（施工体制審査のための）追加資料の提出を依頼しますが、「追加資料の提出はしません」という旨の文書が提出されれば、その時点で入札書は無効になります。一般的に追加資料はほとんどが未提出です。</li> </ul>
<p><b>3 随意契約方式</b>  <b>「大河津分水路新床固改築I期その2工事」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし。</li> </ul>	
<p><b>「令和3・4年度大川ダム低水放流設備修繕工事」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし。</li> </ul>	
<p><b>（建設コンサルタント業務等）</b>  <b>1 一般競争入札方式（総合評価落札方式）</b>  <b>「令和3年度千曲川河川事務所用地調査点検等技術業務（その2）」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし。</li> </ul>	

意見・質問	回 答
<p><b>2 簡易公募型プロポーザル方式</b>  <b>「令和3年度「道の駅」の持続可能な取組みに関する検討業務」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・簡易公募型プロポーザルは、技術提案を受けて一番優れている者と随意契約をし、ほぼ落札率 100% となっていますが、これは価格競争までやると時間がかかるとか手続きが複雑になるからという考えがあるのでしょうか。</li> <li>・技術提案書に記載したことは確認されるということでしょうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本件については簡易公募型プロポーザル方式によって技術提案の提出を求め、その中で最も優れた者を特命随意契約の相手方として、提案内容に応じた業務の参考見積を提出いただき、それに基づく積算、予定価格の算出を行っています。そのため予定価格と見積価格の相違は他の契約方式と比べて小さくなり、落札率 100% もあり得るものということです。</li> <li>・確認しています。</li> </ul>
<p><b>(役務の提供等及び物品の製造等)</b>  <b>一般競争入札方式</b>  <b>「令和3年度信濃川下流河川事務所PCB廃棄物処理作業」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入札価格に大きな開きがあるのはなぜでしょうか。運搬費の計上の問題でしょうか。</li> <li>・参考見積を出してもらった企業の選定はどのようになされているのでしょうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本件は処理作業を委託し、運搬については別途発注しています。入札価格の開きについては、予定価格作成にあたって積算基準がないということと、低濃度 PCB 処分廃棄物の処分費用については一般的にも決まったものがないため、今回数者から参考見積を聴取し、市場価格調査を行った結果で予定価格を作成しています。そういった中で、今回入札に参加した者は、それぞれ企業努力や経営判断した金額で入札したと考えられます。</li> <li>・新潟県内で資格を有している者がいなかったため、隣県に所在する4者に依頼しました。</li> </ul>